

発行日
平成17年(2005年)4月27日
(第4号)
編集・発行
エコパートナーシップうじたわら
広報部会
事務局 TEL(88)6635
FAX(88)3231

生ごみ処理機等補助金(町補助金)が増額されました！！

生ごみ処理機等購入に対する補助金の上限額が2万円から3万円に増額されました。古今東西を通じ、生ごみ処理は人間生活にとって、大きな課題となっています。衛生面から考えてもいろいろ問題があり、環境面からも地球の温暖化の一因となることのみならず、埋立地の逼迫(ひっばく)などの問題を抱えています。

本会においても、生ごみと正しく向き合おうと、循環型社会・地球温暖化防止部会が中心となり「生ごみ減らし隊プロジェクトX」として、生ごみ減量に向けて様々な取り組みを行っております。

コンポスト容器を使用して生ごみの減量を図ることに比べ、電気を使用することによる生ごみ処理機の是非論があるのも事実です。

しかし、電気を使用することが全て環境に悪いという考えに立つと、何もできないのも現実です。コンポスト容器は環境に与える影響は少ない反面、場所が無いと使用不可能、時間的にも拘束を受けます。

そこで、電気とうまく付き合う方法を模索するという方向に、考え方をチェンジしては、いかがでしょうか。

生ごみ処理機で処理し減量したごみをそのまま焼却するのではなく、このごみを完熟させ堆肥化するところまで進めると、生ごみ処理機を使用する意味があると思います。

しかし、コンポスト容器にしても生ごみ処理機にしても、

生ごみが発生してからの問題(リユース:再利用)

(リサイクル:再生利用)であることには変わりありません。

最終的には、生ごみがでない生活様式(リデュース:発生抑制)が求められています。

みなさんも「できることから、はじめませんか」生ごみ減量にご協力ください。



生ごみセミナーのようす

(平成17年1月22日文化センターにて)

会員紹介 インタビュー

阪本 伊三雄さん<エコパートナーシップうじたわら会長>

1. 入会したきっかけは



私が宇治田原町に転入して12年の歳月が流れました。転入してきた当初より環境問題を考える機会があり、町教育委員会が主催する宇治田原町の自然の中で水棲生物と遊び、学ぶ等の環境学習の講座をサポートするなかで、宇治田原町の環境問題について、何かのお役に立てればと思い入会しました。

2. 入会しての感想は

会長という重要なポストに就き、責任の大きさを感じております。今後はみなさま方と更に幅広く環境保全活動について取り組んでいきたいと考えております。

3. 現状の環境問題について及び現状打開の対策について

人間(住民)一人ひとりが常に環境問題について前向きに取り組み、グローバルに考える姿勢が大切であると考えています。しかし、大きく視野を広げるだけではなく、足元を見つめ直し、「できることからはじめよう」という環境問題を解決するための合い言葉に立ち返り、宇治田原町の素晴らしい自然を保全するために、身近にできることから始めることが大切と考えます。

4. 会社(個人)のアピール

自然科学、歴史・考古学、民俗学に合わせて多方面で芸術に関心を寄せています。川や山でおこなう環境学習を通じて、青少年のみなさんと接し、一緒に学ぶことは誠にうれしいことと感じています。

第1回 自然環境体験ハイキング開催（自然・生活環境部会）

新緑の色ます季節、自然環境体験ハイキングを開催します。

日時：平成17年5月22日（日）午前10時～午後3時（雨天中止）

集合場所：宇治田原町役場（午前9時40分受付開始）

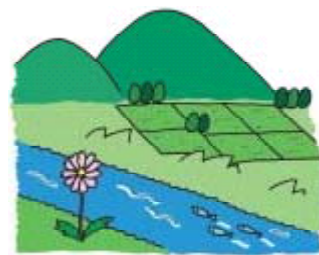
内容：高尾地区散策

参加費：無料

募集人員：先着30名（弁当持参のこと）

応募締切：5月12日（木）まで

応募方法：参加者全員の氏名、住所、年齢、電話番号を明記し、郵送、メール、またはFAXにて応募してください。
（下段の応募先をご覧ください）



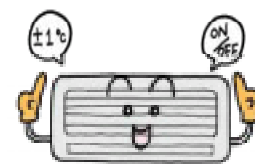
家族そろって宇治田原の豊かな自然を体験してみませんか…どしどしご応募ください。

環境への取組アイデア募集（広報部会）

『皆さんの環境保全に向けた活動』『家庭での省エネのアイデア』などの環境への取組アイデアを下記の要領で募集します。

応募いただいた活動及びアイデアについては、会報誌等で紹介するとともに、環境活動のバイブルとして冊子にとりまとめることも予定しておりますので、どしどしご応募ください。

応募方法：原稿用紙など（様式は問いません）に、氏名（団体名と代表者名）、住所（代表者の住所）、電話番号、活動内容（200字以内で簡潔にまとめてください）を明記し、活動時の写真（サービス判・1枚）を添えて、郵送もしくはEメールにて下段の応募先に応募してください。



<注意事項>

・営利を目的とした活動や政治・宗教に関する活動は掲載できません。

アイデアとして採用されました方には、素敵なプレゼントを進呈いたします。

入会のご案内（一般会員111名 賛助会員 7団体 平成17年3月末現在）

会員の区分

- ・個人会員 = 町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員 = 町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員 = 本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

部会

- ・広報部会…会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会…河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会…生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社
京都やましろ農業協同組合、区長会、須河車体株式会社

平成17年3月末現在（50音順・敬称略）

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
（宇治田原町循環型社会推進室内）

〒610-0289

京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原